

候補地の地形の確認手法

目的

選考対象の候補地は山林など山間部のものが多いため、明らかに不利な地形であると考えられる候補地について、地形図などを用いて確認するもの

利用システム(地図システム)

岐阜県域統合型地理情報システム

- ・平成 27 年 3 月に作成された地図
- ・近隣の住宅の位置は、平成 26 年から平成 29 年に作成された資料
- ・等高線は 5 m 毎に表示

具体的手法

以下の手法により、すべての候補地を調査し比較を行った。

①9,000 m² (100m×90m) の長方形の敷地を、候補地内のなるべく平坦な位置に仮配置
(仮配置基準)

- ・その敷地内を通る等高線の本数が少なくなること
- ・より道路等に近いか

②9,000 m²の長方形の敷地内を通る等高線の数を計測

③9,000 m²の長方形の敷地内で、2本の等高線間の面積を広いところから2～3箇所計測

④住宅までの距離について、この仮配置した長方形からの距離及び敷地境界からの距離の2種類を計測(老人福祉施設、病院、学校も同様)



